

引き続き魅力ある返礼品を検討しながら、あわせて、ふるさと納税をとおして清水町を全国にPRしていくことも目的のひとつですので、今後についても努力していく考えです。

公共交通の確保について

問① 更科 浩司議員

高齢者タクシー利用助成制度や乗り合いタクシーの実証実験実施など、積極的に公共交通の確保を進めています。高齢者タクシー利用助成制度の回数制限の改善について所見を伺います。

答① 久保 弘志町長

本事業については令和2年度から1区間300円で乗車できるように制度を拡充し、年間48枚（透析患者は年間96枚）で実施しています。

高齢者の方からは、やはりタクシー移動が一番だという声をお聞きしていますが、利用券数を増やしていくと将来的に町の財政が厳しくなり維持が困難となるもの

と考えますので、当面は現在の制度で進めていきます。しかしながら、清水町内の公共交通に適しているものは何かを定める時期にきているため、3月末を期限に実施している乗り合いタクシーの実証実験の結果や、近隣市町の様々な取り組みを参考に検証しながら、一番効果的な方法を選択する中で、利用券のあり方についても検討し、将来に向けて交通弱者をなくしていくべく努めていく考えです。

問② 更科 浩司議員

タクシー利用券について、使い切らない人の分を他の人に回すなどの有効活用はできないのでしょうか。

答② 久保 弘志町長

お気持ちはよくわかりますが、公平公正の観点からいうと、それは認められないという回答しかできません。いろいろな意見をいただきながら、高齢者の皆さん、そして町にとって

何が良いかを現在検討している最中なので、当面は今の形態で実施していくことにご理解願います。



行政改革の推進について

問① 更科 浩司議員

次代を担う職員の意識改革と活性化を図るために、北海道大学公共政策大学院と連携をした経緯等をお聞きします。

答① 久保 弘志町長

北海道大学との連携については、平成27年に町・議会・北海道大学公共政策大学院との三者による包括連携協定を締結し

ていますが、その経過は、平成26年に国から公共施設総合管理計画の策定指針が示されたのを受け、公共政策マネジメントの知見を有する北海道大学石井吉春先生に計画策定のアドバイスをいただいたのをきっかけとしてお声をいただき締結したものです。以降、町議会との議会改革における勉強会の開催や、職員の政策立案能力や資質向上を目的とした研修を行ってまい

加えて他大学との連携として、平成28年には農業担い手育成プロジェクトにおいて東京農業大学生物産業学部と、令和2年にはスポーツ習慣化事業の取り組みにおいて日本赤十字北海道看護大学のお力添えをいただいています。町が取り組む政策課題には様々な政策領域がありますので、今後についても専門的な知見を有する大学等と協議をしながら進めていく考えです。

問② 更科 浩司議員

北海道大学しか予算計上されていませんが、他の大学については予算は組まれていないのでしょうか。

答② 久保 弘志町長

北海道大学は、職員研修の中で大学教授に講座等で来庁いただく費用や、職員が大学へ学びに行く研修機会があるため計上しており、他の大学については、現在事業費用が見込まれないため予算は計上しておりません。

教育の充実について

問① 木戸 寛治議員

令和2年の総括質疑において、青年のリーダー養成の考えをお聞きした際に、まずは家庭教育・保護者教育を踏み込んで進めたいと答弁がりましたが、2年が経過した今、どのような評価をしているのかお聞きします。

答① 加藤 友幸教育長

家庭教育については今後も取り組みますが、まずは基本的には郷土愛を育む教育で、子どもたちを育てていくことが重要であると考えます。

その具体的な取り組みとして、飛行機に搭乗して町とオホーツク海を一望し、豊かな自然環境に恵まれた清水を認識する事業を、令和4年度に予定しています。あわせて、夏休み期間にバードウォッチングや山登りで自然を体感すること、小学校では社会科副読本を活用して、農業のこともまちづくりなど、清水の多くのことを学ぶ機会を設けています。

今後については、道徳教育の一層の充実や、職場体験等の地域活動の推奨に加え、コミュニティ・スクールを中心に学校と家庭、地域が一体となって育む体制を一層支援していく考えです。

問② 木戸 寛治議員

現在福太郎が所有している旧北陽小学校の天文台について、今後活用する考えや手法などはありませんか。

答② 加藤 友幸教育長

機器の修繕には多額の費用がかかる状況であることに加え、今は福太郎の持ち物で、天文台に行くには工場の中を通らなければならず、防犯面や衛生面から考えると難しいのかなと思います。

問③ 木戸 寛治議員

郷土を知るところのことについて、町内の史跡看板の整備実績や今後の整備予定をお聞きします。

答③ 加藤 友幸教育長

農道や民地、草むらに隠れたものなど町内にはたくさん史跡看板があり、そこを整備しても誰の目にも触れることなく、

問④ 木戸 寛治議員

社会教育事業について、今後社会教育主事を職員として採用する予定はあるのかお聞きします。

答④ 加藤 友幸教育長

町の活性化や人づくりには社会教育が重要なものだ認識していますので、社会教育主事の配置等については、町と協議し検討していきたいと考えます。

質問は要約されています

議会だよりは、紙面の都合により、質問・答弁の内容を要約しています。詳細については、議会事務局へお問い合わせください。